

# 公益財団法人 服部報公会

## 第85回設立記念会

日時 平成27年10月9日(金)午後3時30分  
場所 日本工業倶楽部 5階

### 式次第

1. 開 会

2. 挨拶 代表理事 佐藤 壽 芳

3. 審査報告 審査委員 佐藤 知 正

(報公賞・工学研究奨励援助金)

4. 報公賞贈呈

社会基盤構造安全学の研究とその国際展開

横浜国立大学 先端科学高等研究院

上席特別教授 藤 野 陽 三

5. 工学研究奨励援助金贈呈・受領者代表挨拶

6. 報公賞受賞者挨拶・講演

7. 特別講演

高速ビジョンとその応用展開

東京大学大学院 情報理工学系研究科

教 授 石 川 正 俊

8. 閉 会

閉会后記念パーティー (会場4階・午後5時～6時の予定)

以 上

公益財団法人  
服部報公会  
The Hattori Hokokai Foundation

設立 昭和5年

公益財団法人 服部報公会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2丁目8番10号虎ノ門15森ビル

Tel : (03)6739-9610 Fax: (03)6739-9611

Email: info@hattori-hokokai.or.jp

Web : www.hattori-hokokai.or.jp

## 沿革

服部報公会は、昭和5年、株式会社服部時計店（現 セイコーホールディングス株式会社）の創業者初代社長服部金太郎が、その70回の誕辰にあたり、国家、社会の恩に報ずるの念をもって、私財3百万円を投じて設立した公益事業団体であります。

会の目的とするところは、社会の福祉を増進し公益に資することであり、このために次の事業を遂行することとしました。



設立者 服部金太郎

1. 国家及び社会に対し有用なる発明発見又は研究を成就したのものに対する感謝及び賞金の贈与。
2. 一般学術の特殊なる研究又は調査の奨励、援助。
3. 教育その他の公益事業に対する援助。
4. その他の本財団の目的を達成するために必要な事業又は出版を為すこと。

設立当時の役員は、理事長桜井錠二博士、理事に湯浅倉平、大河内正敏、矢野恒太、篠原三千郎の4氏、監事に穂積重遠、清水賢一郎の両氏が当り、評議員には学界ならびに政、官、財界の諸名士が名を連ねました。その後、服部金太郎が昭和9年に歿すると、嗣子2代社長服部玄三は、設立者の遺志を継いで、さらに私財3百万円を寄附し、ここに会の基金は6百万円に増強され、当時屈指の民間公益事業団体となりました。

会の発足以来今日に至る間に、我が国は、第2次世界大戦をなかにはさんでしばしば激動の波に洗われましたが、この間においても、会の事業は一度の中断もなく遂行されてまいりました。しかし戦後の激しいインフレの昂進によって、従来の基金をもってしては事業の遂行が困難になりましたので、設立者の遺業に関係の深い会社のご協力や個人のご寄附によって逐次基金の増加を図り現在に至っております。

なお、当会は平成24年1月に公益財団法人へ移行いたしました。

## 事業実績

○昭和6年度～昭和40年度

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 報公賞          | 60件(73名) |
| 2. 一般学術研究調査奨励援助 | 2,057件   |
| 3. 教育事業等援助      | 1,556件   |
| 4. 学術書出版等特別事業   | 146件     |

○昭和41年度～平成26年度

- |                              |          |
|------------------------------|----------|
| 1. 報公賞                       | 50件(52名) |
| 2. 工学研究奨励援助                  | 828件     |
| 3. 特定研究助成費<br>(平成2年から平成5年まで) | 4件       |

## 事業 (平成26年12月31日現在)

○平成26年度事業

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| 報公賞      | 500万円(1名)           |
| 工学研究奨励援助 | 1,000万円(各100万円、10名) |

## 事業内容

当財団は現在、工学に関する研究を奨励援助し、もって学術及び科学技術の振興と進歩発展に寄与することを目的として、以下の事業を行っております。

1. 工学の進歩に著しく貢献した顕著な研究業績に対し、報公賞（賞金）の贈呈。
2. 工学の発展に寄与することが期待される研究に対し、工学研究奨励援助金の助成。
3. その他当財団の目的を達成するために必要な事業。

上記の目的を達成するために、ウェブサイトなどを通じて公募を行っております。報公賞については大学、研究所等の研究機関に対し、また工学研究奨励援助金については大学学長、大学院工学研究科長又は工学部長に対し応募要項を送付し候補者の推薦をお願いしております。慎重かつ厳正な審査を行い、毎年10月9日に開催する当財団設立記念会の席上において報公賞および工学研究奨励援助金の贈呈を行っております。



第84回設立記念会(2014年10月9日、日本工業倶楽部)

## 役員・評議員 (常勤の記載のない役員・評議員は非常勤)

代表理事	佐藤 壽 芳	東京大学名誉教授
業務執行理事	中村 敏 宏	事務局長(常勤)
理事	瓜生 敏 之	東京大学名誉教授、高知工科大学名誉教授
理事	工藤 徹 一	東京大学名誉教授
理事	田中 英 彦	東京大学名誉教授、情報セキュリティ大学院大学学長
理事	神谷 武 志	東京大学名誉教授
監事	草間 生 一	元セイコーエプソン株式会社社長
監事	大崎 一 仁	弁護士
評議員	平井 英 史	東京大学名誉教授
評議員	服部 真 二	セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長兼グループCEO
評議員	中村 吉 伸	セイコーホールディングス株式会社代表取締役社長
評議員	榊 裕 之	東京大学名誉教授、豊田工業大学学長
評議員	三島 良 彰	国立研究開発法人産業技術総合研究所特別顧問
評議員		東京工業大学学長

## 審査委員会

審査委員長	佐藤 壽 芳	東京大学名誉教授
審査委員	工藤 徹 一	東京大学名誉教授
審査委員	田中 英 彦	東京大学名誉教授、情報セキュリティ大学院大学学長
審査委員	佐藤 知 正	東京大学名誉教授
審査委員	加藤 雅 秀	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
審査委員	一西 郷 和	東京大学大学院薬学系研究科教授
審査委員	菊池 和 彦	東京大学名誉教授、高知大学特任教授
審査委員	畑 中 研 一	東京大学大学院工学系研究科教授
審査委員		東京大学生産技術研究所教授

「報公賞」歴代受賞者及び受賞の業績

公益財団法人  
服部報公会

東京都港区虎ノ門2丁目8番10号 虎ノ門15森ビル  
郵便番号 105-0001 電話 (03) 6739-9610

回/年	業 績	受 賞 者
第 1 回 昭和6年	酸性白土の研究 結晶体空間格子による電子波廻折の現象に関する実験的研究 随意筋の神経支配に関する研究	早大教授 工博 小林 久 平 理研々究員 理博 菊 池 正 士 東大教授 医博 吳 建
第 2 回 昭和7年	高磁力合金の発明 雌雄嵌合体の研究 水素バンドスペクトルの研究 プロトンの廻折現象の研究 硬化油の研究 小麦江島神力種の育成	東大助教授 工博 三 島 徳 七 東大助教授 獣医博 増 井 清 旅工大教授 理博 堀 健 夫 理研々究員 理博 杉 浦 義 勝 阪工大教授 工博 上 野 誠 一 元福岡県技師 高 木 繁 雄
第 3 回 昭和8年	日本楽器に関する音響学的研究 ウイルソン霧函の改造 新製剤ピタカンファーの発明 優良夏秋蚕品種の育成 光電管を応用する電氣的紋織装置の発明	航研所員 理博 小 幡 重 一 東大教授 理博 清 水 武 雄 理研々究員 東大教授 医博 田 村 憲 造 同 教授 薬博 朝比奈 泰 彦 同 講師 医博 木 原 玉 守 同 副手 薬博 水 野 辰 五 郎 農林蚕試松本出張所長 中 西 金 作
第 4 回 昭和9年	受賞該当研究なし	
第 5 回 昭和10年	水産学方面に於ける物理学の応用 強磁性単結晶に於ける磁性の研究 癌腫の生成に関する研究 油脂殊に海産動物油に関する研究 大豆蛋白質に関する研究	水講教授 理博 田 内 森 三 郎 北大教授 理博 茅 誠 司 杏雲堂病院長 医博 佐々木 隆 興 長崎医大助教授 医博 吉 田 富 三 東京工試技師 工博 外 山 修 之 東京工試技師 工博 増 野 實
第 6 回 昭和11年	光学硝子製造に関する研究	大阪工試技師 工博 高 松 亭
第 7 回 昭和12年	感光色素の研究	理研々究員 理博 尾 形 輝 太 郎 同 研究員 理博 桜 井 季 雄
第 8 回 昭和13年	素粒子間の相互作用の研究 雪の研究 レントゲン線の集光照射法	阪大助教授 理博 湯 川 秀 樹 北大教授 理博 中 谷 宇 吉 郎 東大教授 医博 中 泉 正 徳

回/年	業 績	受 賞 者
第 9 回 昭和14年	発声機構と語音調節の研究 重水素及び重酸素に関する研究	東大助教授 医博 颯 田 琴 次 阪大教授 理博 千 谷 利 三
第 10 回 昭和15年	新合金「センダスト」の発見並にその応用 切削工具の研究	東北大教授 理博 増 本 量 治 東北金属工業(株) 技師 山 本 達 東大助教授 工博 大 越 諄 理研々究員
第 11 回 昭和16年	アミノ酸に関する研究 東洋産含稀元素鉱石の化学的並に地球化学的研究 附、本邦火山並に温泉の地球化学的研究	阪大教授 理博 赤 堀 四 郎 東大教授 理博 木 村 健 二 郎
第 12 回 昭和17年	変化する音響の新分析法と其の応用	北大豫科教授 理博 今 堀 克 己
第 13 回 昭和18年	アルミニウム陽極膜に関する研究 唾液腺内分泌の研究	理研々究員 工博 宮 田 聰 東大名譽教授 医博 緒 方 知 三 郎
第 14 回 昭和19年	腎炎に関する研究	前千葉医大教授 医博 馬 杉 復 三
第 15 回 昭和20年	小銃弾の水面に於ける跳飛現象 水晶振子の研究	東大助教授 工博 磯 部 孝 東工大教授 工博 古 賀 逸 策
第 16 回 昭和21年	稲馬鹿苗病菌の生化学的研究 醋酸鉛注射に依る動物体硬組織の生体染色法並に硬組織の生理及薬理の研究	東大教授 農博 藪 田 貞 治 郎 東大助教授 農博 住 木 諭 介 武 農林省農試技師 岡 田 正 弘 東京医学歯学専門学校教授
第 17 回 昭和22年	浅間火山に関する地球物理学的研究 望遠鏡の収差に関する研究	東大助教授 理博 水 上 武 東大講師 工博 朝 香 鐵 一
第 18 回 昭和23年	火山岩中の輝石に関する研究	東大助教授 理博 久 野 久
第 19 回 昭和24年	東亜に於けるアコニット属植物のアルカロイドに関する研究	北大教授 理博 杉野目 晴 貞 元二高教授 理博 故 森 尾 森 一 科研々究員 理博 田 村 國 三 郎
第 20 回 昭和25年	Pigment saltant penicillium chrysogenum Q176 Wisconsin Arima et Ogasawara.	東大助教授 有 馬 啓 宏 東大大学院特別研究生 小笠原 長
第 21 回 昭和26年	蛍光顕微鏡に関する研究 難溶性磷酸塩の肥料学的研究	東京慈恵医大教授 医博 矢 崎 芳 夫 東北大教授 農博 藤 原 彰 夫

回/年	業 績	受 賞 者
第 22 回 昭和27年	電子廻折及び電子顕微鏡に依る金属表面の研究	科研々究員 理博 山 口 成 人
	日本脳炎の蚊による伝播について	東大名誉教授 医博 三田村 篤志郎 国立豫防衛生 医博 北 岡 正 見 研究所部長
第 23 回 昭和28年	4,000メガサイクルより24,000メガサイクルに及ぶマイクロ波における誘電体特性の測定に関する研究	東大助教授 工博 齋 藤 成 文 生産技術研究所 勤務
第 24 回 昭和29年	日本産つゝがむしの研究	東大助教授 医博 佐 々 学 伝研寄生虫研究部
第 25 回 昭和30年	34の造岩鉱物の研究	東大助教授 理博 都 城 秋 穂
第 26 回 昭和31年	超音波機械加工法の研究	東大教授 工博 西 村 源六郎
第 27 回 昭和32年	ニッケル触媒の新製法	東大教授 理博 漆 原 義 之
第 28 回 昭和33年	造岩鉱物の研究に基づく変成作用の解明	埼玉大講師 理博 関 陽太郎
第 29 回 昭和34年	界面化学に関する研究	東京都立大学教授 理博 佐々木 恒 孝
第 30 回 昭和35年	1日孵化鶏卵によるウイルス感染の研究	国立予防衛生研究所 医博 吉 野 亀三郎
第 31 回 昭和36年	熱電冷却に関する研究	東大教授 工博 菅 義 夫 東大助教授 工博 青 木 昌 治
		東大助手 理博 荒 牧 重 雄
第 32 回 昭和37年	浅間火山の地質殊にその碎屑流の研究	東大助手 理博 荒 牧 重 雄
第 33 回 昭和38年	煙霧質に関する研究	名大教授 理博 佐 野 慄
第 34 回 昭和39年	炭素の物性に関する研究	慶大教授 工博 水 島 三 知
第 35 回 昭和40年	睡眠の発現機序に関する研究	東大教授 医博 時 実 利 彦 脳研究所長
第 36 回 昭和41年	銅メッキの応力測定に関する研究	名大教授 工博 大久保 肇
第 37 回 昭和42年	赤外スペクトルの強度に関する基礎的研究	東工大助教授 理博 前 田 史 朗

回/年	業 績	受 賞 者
第 38 回 昭和43年	電離層プラズマプローブの研究とその改善	理化学研究所 工博 土 手 敏 彦 副主任研究員
第 39 回 昭和44年	環式アミノアルコール類の新しい合成法と核磁気共鳴スペクトルによる構造解析	慶大教授 工博 須 網 哲 夫
第 40 回 昭和45年	超高性能白金コバルト磁石材料の研究	東北大助教授 工博 本 間 基 文
第 41 回 昭和46年	異方性プラズマ中の電磁波の放射と伝播に関する研究	東北大教授 工博 虫 明 康 人 東北大教授 工博 安 達 三 郎
		阪大助教授 理博 望 月 和 子
第 42 回 昭和47年	磁性体の光学的性質の研究	東北大教授 工博 高 橋 正
第 43 回 昭和48年	II-VI族化合物半導体間の混晶の単結晶成長とその光学特性	東北大教授 工博 大 越 孝 敬
第 44 回 昭和49年	三次元画像の研究	東大助教授 理博 緒 方 直 哉
第 45 回 昭和50年	縮合系機能性高分子の合成	東大助教授 工博 河 野 照 哉
第 46 回 昭和51年	低温における気体放電の研究	東北大教授 工博 岩 崎 俊 一
第 47 回 昭和52年	垂直磁化モードを用いた磁気記録方式の研究	東北大教授 工博 多 田 邦 雄
第 48 回 昭和53年	光集積回路用光変調デバイスおよび材料に関する研究	東大助教授 工博 多 田 邦 雄
第 49 回 昭和54年	受賞該当研究なし	
第 50 回 昭和55年	アモルファスシリコンの価電子制御とその光起電力素子への応用	阪大教授 工博 浜 川 圭 弘
第 51 回 昭和56年	磁気録音再生ヘッド用磁性合金「ハードパーム」の研究および開発	電気磁気材料研究所 工博 村 上 雄 悦 第2研究室長
第 52 回 昭和57年	係留された浮体の安全性に関する研究	東大生産技術研究所 工博 浦 環 助教授
第 53 回 昭和58年	窒化アルミニウムを用いた零温度係数・弾性表面波素子の研究	東北大電気通信 理博 御子柴 宣 夫 研究所教授 工博 坪 内 和 夫 同助教授
		慶大助教授 工博 竜 田 邦 明

回/年	業 績	受 賞 者
第 54 回 昭和59年	核酸に対する新しい合成試薬の開発とその応用 レーザー制御技術の開発とその理・工学への応用	千葉工大講師 理博 高 久 洋 理化学研究所主任研究員 理博 粕 谷 敬 宏
第 55 回 昭和60年	鋼の加工熱処理に関する研究	京大教授 工博 田 村 今 男
第 56 回 昭和61年	Ⅲ-V族半導体中の欠陥物性に関する研究	東大生産技術研究所教授 工博 生 駒 俊 明
第 57 回 昭和62年	高強度フェライト系耐熱鋼の発明とその応用	東大名誉教授 工博 藤 田 利 夫
第 58 回 昭和63年	スフェロマック方式によるプラズマの発生・保持に関する研究 導電性高分子の分子設計と応用	東大教授 工博 桂 井 誠 東工大資源化学研究所教授 工博 山 本 隆 一
第 59 回 平成元年	受賞該当研究なし	
第 60 回 平成2年	半導体マイクロ構造における量子効果とその応用	東大先端科学技術研究センター教授 工博 榊 裕 之
第 61 回 平成3年	精密合成反応剤の分子設計	名大教授 Ph.D. 山 本 尚
第 62 回 平成4年	超短パルス高出力レーザーを用いた高次高調波の研究	東大物性研究所助教 工博 渡 部 俊 太 郎
第 63 回 平成5年	量子効果半導体レーザーの先駆的研究 非線形現象の理論解析及び通信工学への応用	東大生産技術研究所助教 工博 荒 川 泰 彦 阪大教授 Ph.D. 長 谷 川 晃
第 64 回 平成6年	受賞該当研究なし	
第 65 回 平成7年	機能性リポソームの開発に関する研究	京大大学院工学系研究科教授 工博 砂 本 順 三
第 66 回 平成8年	光ファイバとファイバへの光機能素子集積技術の研究	東北大電気通信研究所教授 工博 川 上 彰 二 郎
第 67 回 平成9年	全反射X線法による極微量工業分析の研究	東大大学院工学系研究科教授 工博 合 志 陽 一
第 68 回 平成10年	MOSデバイスのモデリングとシミュレーション	東洋大教授 工博 鳥 谷 部 達
第 69 回 平成11年	衝撃波現象の数値および光学的解明と環境および医用工学への応用	東北大流体科学研究所教授 工博 高 山 和 喜

回/年	業 績	受 賞 者
第 70 回 平成12年	シリコンマイクロマシン技術の先駆的研究とその応用	東大生産技術研究所教授 工博 藤 田 博 之
第 71 回 平成13年	酵素触媒を用いる高分子の精密合成	京大大学院工学系研究科教授 工博 小 林 四 郎
第 72 回 平成14年	エルビウム添加光ファイバ増幅器(EDFA)の先駆的研究開発と光通信への応用	東北大電気通信研究所教授 工博 中 沢 正 隆
第 73 回 平成15年	過冷却金属液体の安定化と高機能非平衡材料の創製・工業化の研究	東北大金属材料研究所教授 所長 工博 井 上 明 久
第 74 回 平成16年	生分解性高分子の生合成と材料設計に関する研究	理化学研究所主任研究員 工博 土 肥 義 治 東京工業大学教授
第 75 回 平成17年	超高分解能光電子分光による材料物質の電子機能性解明	理化学研究所主任研究員 理博 辛 埴 東京大学物性研究所教授
第 76 回 平成18年	透明酸化物電子活性材料に関する研究	東京工業大学フロンティア創造共同研究センター教授 工博 細 野 秀 雄
第 77 回 平成19年	常温接合と実装工学	東京大学大学院工学系研究科教授 理博 須 賀 唯 知
第 78 回 平成20年	デバイス物理の解明とこのモデル化	広島大学大学院先端物質科学研究科教授 理博 三 浦 道 子
第 79 回 平成21年	活性点の精密制御による環境対応型触媒反応系の開発	東京大学大学院工学系研究科教授 工博 水 野 哲 孝
第 80 回 平成22年	デジタルコヒーレント光通信に関する研究	東京大学大学院工学系研究科教授 工博 菊 池 和 朗
第 81 回 平成23年	高次高調波による高出力XUVコヒーレント光源の開発	理化学研究所エクストリームフォトニクス研究グループ 工博 緑 川 克 美 グループディレクター
第 82 回 平成24年	高速ビジョンとその応用展開	東京大学大学院情報理工学系研究科教授 工博 石 川 正 俊
第 83 回 平成25年	ガーネット型シンチレータの開発と放射線検出器への展開	東北大金属材料研究所教授 理博 吉 川 彰
第 84 回 平成26年	非線形誘電率顕微鏡の発明・実用化と電子デバイス開発への応用	東北大電気通信研究所教授 工博 長 康 雄

平成27年度「工学研究奨励援助金」受領者

機関名／受領者	研究題目	助成金額
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 省エネルギー研究部門 研究員 あきくら 朝倉 だいすけ 大輔	酸化物系蓄電池正極材料における酸素の酸化還元反応の解明およびその積極的利用の検討	(円) 1,000,000
高知工科大学 環境理工学群 助教 あきはら 浅原 はるやす 時泰	窒素原子を環内部に有する拡張 $\pi$ 共役系分子の開発と刺激応答型光学材料の創製	1,000,000
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 創薬分子プロファイリング研究センター 研究員 かわかみ 川上 たかし 隆史	小分子反応性ペプチドタグの開発と細胞内タンパク質イメージングへの応用	1,000,000
横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 助教 こまつ 小松 まとし 怜史	若材齢でひび割れが生じるCPC部材の引張応力下における時間依存変形挙動の分析	1,000,000
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 物理計測標準研究部門 主任研究員 こん 崑 せい 盛太郎	負荷効果自動補正技術による究極のアナログ増幅器の実現	1,000,000
京都大学大学院 工学研究科 講師 たなか 田中 かずお 一生	ホウ素錯体含有共役系高分子を基盤とした高輝度固体発光材料の開発	1,000,000
広島大学大学院 工学研究院 助教 たなか 田中 りょう 亮	植物由来テルペノイドのステレオブロック重合による高性能樹脂の開発	1,000,000
東北大学 多元物質科学研究所 講師 とまい 苦居 たかあき 高明	環境調和型レドックスフロー電池に資するキノンナノフルイドの開発	1,000,000
九州大学大学院 工学研究院 助教 なかしま 中島 やすたか 康貴	自由歩行が可能なトレッドミルの左右の速度差を用いた転倒刺激手法の構築	1,000,000
東京都市大学 工学部 機械工学科 講師 にしべ 西部 こういち 光一	シンセティックジェットを利用した流体輸送・混合機能を有する複合装置の開発	1,000,000
大阪大学 産業科学研究所 助教 はっとり 服部 あずさ 梓	電界効果キャリアドーピングによる10nm級極微構造体での電子相転移制御	1,000,000
山形大学大学院 理工学研究科 助教 みなみ 南 つよし 豪	有機薄膜トランジスタを用いた簡易重金属イオンセンサの創製	1,000,000
名古屋工業大学 工学研究科 助教 みやがわ 宮川 れい 衣奈	フェムト秒レーザーを用いたSiC基板上への直接GaN成長	1,000,000
岡山大学大学院 自然科学研究科 助教 わたなべ 渡邊 かずのり 和則	光制御による細胞分化誘導法の開発	1,000,000



## 平成27年度「報公賞」受賞者・藤野陽三教授の功績

受賞者藤野陽三氏は、社会基盤構造安全学の研究に努め、橋などのインフラストラクチャの地震・風などによる振動の予測と制御そしてモニタリングの研究において世界をリードし、「構造制御」という分野を確立し、世界構造制御学会を設立に導くなど構造工学の新しい潮流を主導されました。同調液体ダンパーやケーブルダンパーなどの実用技術を世界に先駆けて開発するとともに、数々の設計公式を導き、世界でも広く使われております。

具体的には、構造・環境相関モデリングの研究においては、吊形式橋梁の新しい非線形振動モデルの提案、歩行者の同期による橋の横揺れ振動の存在の証明などが、顕著な業績としてあげられます。中でも特筆すべきは、歩行者による横揺れ振動のため2000年に閉鎖されたロンドンのミレニアムブリッジでは、1993年に国際誌に発表した論文で、集団の歩行同期による橋の横揺れを予見しており、この分野の世界的な第一人者としてイギリスにアドバイザーとしてただちに招聘され、問題の解決に貢献されたことです。この振動は数理学の分野でも歩行者の同期 (Synchronization) として国際的に注目され、受賞者の論文がサイエンスの分野での数多くの研究のきっかけを作り、数多く引用されるに至っております。

また、構造制御の研究においては、自らが考案し命名した同調液体ダンパーTLD (Tuned Liquid Damper) をはじめ、同調質量ダンパー、マルチプルダンパー、ケーブルダンパーなどの性能評価式や免震ゴム支承の統一モデルの構築などの数々の成果を発表し、広く内外の設計で使われております。これが構造制御学の分野の確立につながり、また世界構造制御学会の設立に参加し、自ら会長も務めるところとなった訳です。

さらに、モニタリングによる構造モデリングの研究においては、風などの環境外乱による構造物の振動応答からの構造物や環境外乱のモデルを解析する理論 (逆解析理論) を構築し、吊橋の風応答からの自励空気力の高精度検出、斜張橋の地震応答からの高次モード同定、橋梁の免震効果の同定などに成功し、また、高密度レーザ多点振動計測手法とそのデータ処理法を確立し、振動モニタリングから工学的に価値のある情報を導けることを実証的に示すなど構造同定の新しい分野を切り拓いておられます。

現在、藤野陽三氏はこれまでの業績を生かし、国家プロジェクトである内閣府の戦略的創造プログラム SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) のディレクターとして、安全なインフラを実現するための維持管理の研究開発のリーダーも務められておられます。

これらの研究業績は、社会基盤構造安全学の分野において、パイオニア性が極めて高く優れた業績であります。また、藤野陽三氏が開拓した革新的な社会基盤構造安全学の分野は、橋・構造、モニタリング・メンテナンス、知能化社会基盤、風工学の分野にとどまらず、広く、災害事故に対する都市社会基地リスクの軽減と制御、事前予測や事中・事後対策までを含めた知能化セキュア社会インフラ実現に寄与すると期待されます。

## ■ 受賞者略歴



氏名： 藤野 陽三（ふじの ようぞう）

生年月日： 昭和 24 年（1949 年） 9 月 27 日生

学歴： 昭和 47 年（1972 年） 4 月 東京大学大学院工学部土木工学科卒業  
昭和 49 年（1974 年） 3 月 東京大学大学院修士課程（土木工学）修了 工学修士  
昭和 51 年（1976 年） 9 月 ウォータール大学（カナダ）博士課程修了 Doctor of Philosophy

職歴： 昭和 51 年（1976 年） 10 月 ウォータール大学 博士研究員  
昭和 52 年（1977 年） 4 月 東京大学地震研究所 助手  
昭和 53 年（1978 年） 4 月 筑波大学構造工学系 助手  
昭和 54 年（1979 年） 7 月 筑波大学構造工学系 講師  
昭和 57 年（1982 年） 4 月 東京大学工学部土木工学科 助教授  
平成 2 年（1990 年） 7 月 東京大学工学部土木工学科 教授  
平成 17 年（2005 年） 4 月 東京大学大学院工学系研究科 教授  
平成 22 年（2010 年） 4 月 東京大学大学院工学系研究科 特任教授  
平成 25 年（2013 年） 6 月 東京大学 名誉教授  
平成 26 年（2014 年） 4 月 横浜国立大学安全安心研究教育センター 教授  
平成 26 年（2014 年） 10 月 横浜国立大学先端科学高等研究院 上席特別教授

受賞歴： 昭和 57 年（1982 年） 土木学会論文奨励賞  
昭和 60 年（1985 年） 土木学会田中賞（以後 7 回、同賞受賞）  
平成 2 年（1990 年） 土木学会論文賞（平成 19 年、同賞受賞）  
平成 7 年（1995 年） 日本風工学会論文賞  
平成 19 年（2007 年） 紫綬褒章  
平成 19 年（2007 年） アメリカ土木学会 Raymond C. Reese Research Prize  
平成 23 年（2011 年） アメリカ土木学会 R. H. Scanlan Medal  
平成 24 年（2012 年） 世界橋梁管理学会（IABMAS） T. Y. Lin Medal  
平成 25 年（2013 年） 東アジア構造工学会議(EASEC) Nishino Medal  
平成 26 年（2014 年） 土木学会国際貢献賞  
平成 26 年（2014 年） 国際構造工学会（IABSE） IABSE 賞  
平成 27 年（2015 年） 日本風工学会功績賞  
平成 27 年（2015 年） アメリカ土木学会 George Winter Medal